

關根止道 せきみち 國史學・國文學者、文學博士。安政七年二月二日江戶生れ、昭和七年五月二十五日歿（八六〇―一九三二）。幼名又二郎、直三郎。號「世止大夫、吟風、松莊主人、東野生。東京大學文學部古典講習科卒。學政院、東京女子高等師範學校各教授歴任。好劇家關根只誠の長男、劇評家關根歟庵の兄。ホム・フランスマ文學者關根秀雄、國文學者關根慶子、聖書學者關根止雄の父。

著書『國語學』（明治二十四年六月八日笠巻書店）、『日本史要』全

二冊（小中郵義象共著、上・明治二十五年十月二日、下・二十六年一

月十―二日大倉書店）、『皇居陛下の御聖徳合本』（落合清文合著、明

治二十六年五月十日女學通信會。「婦女鑑」附載）、『筆のゆきかひ』

全二冊（坂止臣共編、上・明治二十六年七月二十一日、下・二十一年一

十五日大倉書店）、『國語學參考』（明治二十六年七月二十三日六合

館笠巻書店）、『近代文學』（編、明治二十七年五月二十四日、續編

・二十八年四月九日哲學書院）、『枝水鏡』（萩野由之・松井清治共校定、明治

二十九年五月四日六合館）、『宮殿調度圖解―附乗物考』（再版・明治

二十三年十月一日林書房）、『近松之研究』（合著・坪内逍遙編、

明治二十二年十一月十五日春陽堂）、『名文評釋』（合著・國學院編、

明治二十四年五月四日博文館）、『教科中古文選』全二冊（編、上、

下、附上古文選・明治二十四年五月二十日成美堂）、『十六夜日記

諺解』（明治二十五年八月五日六合館）、石川雅堂著『近江縣物語』

（校訂、明治二十六年七月八日富山房「名著文庫」）、『文筆のあや』

（編、波多野利枝補、明治二十九年六月十五日大倉書店）、『即位禮

大典講話』（大止四年四月二十―二日寶文館）、『即位御大典八就』

(内題「即位禮大嘗祭」) 御大典成就」大正四年四月、千七百於蕪族
會館、火曜會)、「御即位
大嘗祭」御大禮要話」(比佐祐次郎纂輯、大正四年
十月、二十八日中央通俗講演會)、「歌林餘葉」歌集ぬきこほ」(撰、大
正六年一月五日教文館)、「史話俗談」(大正九年十月、千五百國民
圖書株式會社)、「大正天皇奉悼講演集」(竹越與三郎
年、二月、千五百京市教育局)、「隨筆
雜話」ららめ」(昭和二年十月五日
六合館)等。